

ガバナー公式訪問



新庄ロータリークラブ

会長 三條 常夫

9月5日(木)に新関ガバナー、志田地区幹事、井上ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会が行われました。

ガバナーからの年度方針の説明では、「ロータリー活動は人生の部活動」とお話しされ、ロータリー活動を職業に生かすこと、楽しいことだけがロータリーではないといった言葉が大変印象に残っており、ロータリーへの熱い思い

をお聞きすることができました。また、ロータリアンの3つの義務やガバナーが目指す「社会貢献するクラブづくり」、「地域に根ざしたロータリー」、「まずは自分たちが楽しめるロータリーづくり」の基本的な考え方をお聞きしました。

特に会員増強の話では、沢山の事例を用い、アイデアを持って勧誘すること、会員を育てることの重要性など、クラブ規模の適正会員数など真剣な討議をさせていただき、クラブ活性化に向け適切なアドバイスを賜りました。

新関ガバナーからは、多岐に亘り今後のクラブ運営の指針となるお話を賜り、感謝申し上げます。



村山ロータリークラブ

会長 氏井 隆夫

去る9月10日(火)新関ガバナー、井上ガバナー補佐、志田地区幹事をお迎えし、公式訪問が行われました。午前10時30分からの会長幹事会には、エレクト・副幹事も同席し、和やかな雰囲気の中クラブ運営等について、ガバナーより適切なアドバイスやご指導を賜り終了させて頂きました。

例会前に全員出席を確認し、記念写真の撮影を行いました。例会では、新関ガバナーの自己紹介に始まり、今年度の新たな組織「クラブ奉仕、新世代奉仕、地域奉仕の各グループ」についての説明があり、20名以下のクラブにも「一人がひとり」という地域全体で増強に挑戦すること。クラブ奉仕には、出席率重視の前に実際に出席して他クラブを体感し、自分のクラブに生かし知り合いの輪を広げて欲しいなどの力強い言葉を戴き、今後のクラブ運営に活用していきたいと思っております。大変ありがとうございました。



山形ロータリークラブ

会長 中村喜兵衛

9月11日、2800地区新関彌一郎ガバナーを迎えての公式訪問例会が開催されました。新関ガバナーは、ロータリーについて「クラブに行く事で、ほとんどの情報が手に入る。また、情報を与えることが出来る」と出席することの意義を説かれました。

本年度は、大小のクラブが柔軟に指針に対応できるよう「クラブ奉仕」・「新世代奉仕」・「地域奉仕」の三大グループ制を導入していくことを説明されたほか、

「国際ロータリーの根本である精神・目的をうまく取り入れて自主的に運営していくことこそが日本に根ざすロータリーの真髄」と、永年にわたるロータリーの実践をもとに大変貴重なお話を賜りました。



余目ロータリークラブ

会長 大滝 正博

9月17日(火)第2800地区内34クラブ目ということで、当クラブを訪問して頂きました。「今まで訪れたクラブは一つとして同じロータリークラブがなく、それぞれの伝統・特徴を生かしながら創っている、これは大変すばらしい事」とのことでした。メイクをすることによって自分たちのクラブを見つめ直す機会をつくっていきたいと考えます。

また復興支援に関しまして、当町は震災前から南三陸町とは姉妹町として交流があり、物心両面で支援して参りました。昨年度、宮城県の佐沼ロータリークラブと友好クラブになり、ロータリークラブ同士の交流も始めています。今後も引き続き協力して参りたいと思っております。